

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス大洋			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 15日		～	2025年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名 (家庭数)	(回答者数)	12名 (家庭数)
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日		～	2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の内容が客観的に分析されていて具体的である。また、計画の目標に沿った支援も行われて多様な内容からアプローチが出来ていると思う。	対象児童やその保護者との定期的な面談等において、ニーズやご意向が反映されるよう努めている。また、活動内容に関しては子供たちの「楽しい」という気持ちを基盤としつつ課題改善ができるように、毎月バリエーションのあるプログラム構成に努めている。	児童自身が成長を分かりやすく実感できるように、成長の「見える化」に努める。
2	保護者との情報共有に努めており、児童の様子や利用日にどのような活動をしたのかなどの共有が出来ている。保護者と支援について同じ方向を向くことができているため、互いに共感的な視点で共に成長する児童を支える環境があると思う。	療育支援システムにて、その日に「どのような活動をしたのか」「児童はどのような様子で過ごしていたのか」など、実際に見ることのできない施設内での様子を写真と共に共有している。	今年度導入した「デジタル」を活用した参観日企画を検討している。実際に活動する児童を
3	安心・安全が確保されていて、子ども達が楽しく学べる環境を整えている。そのため信頼してお子さんを送り出せる事業所であると思う。	安全を第一優先として日ごろの活動や施設内の環境整備等に配慮している。また万が一何か事故やトラブルが起きた際は、対応後すぐに共有し、保護者や関係機関等への迅速で詳細な報告を行い理解を得ることができるよう努めている。	避難訓練の周知を保護者にも徹底すること。交通安全や救急訓練・感染防止研修など児童の安心・安全に関する研修や企画を実施して、出来る限り全ての職員と児童にて実施をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の活動や企画イベントにて他の事業所や児童館、一般の子どもや大人と関わる機会が少ないため、地域に開かれた交流の場を設けて、地域として利用児童を育て支える意識が必要だと思う。	利用している児童自身が、事業所の外に出て多様な人と関わることに不安を感じている。また成長の場としてもまだ他事業所内での課題が多い為、安全の面から考えても積極的に企画することは難しい。	積極的に地域で開かれているイベントに参加する。また地域の方との関わりに不安を感じる児童には、職員が間に入って可能な限り円滑なコミュニケーションがとれるようにサポートする。
2	個別での面談や連絡のやり取りの中で、各家庭の相談や教育・療育に関するアドバイス等を行ってはいるが、支援プログラムとしてペアレント・トレーニングは行っていないと思う。	日ごろの面談ややり取りから、保護者自身が子供の教育や療育に悩んでいるという方もいるが、仕事や家事等の都合により参加が難しいご家庭が多い。そのため企画・実施をしたとしても、前述で挙げた都合の時間を削ってまで参加をしてくれる程のニーズがある方は少ないと感じる。	お便りやLINE等を通して、気軽に家でも視聴できる形でペアレント・トレーニング関係の情報をお伝えする。
3	事業所として保護者会のような児童の親同士が交流する場を設けることができていないと思う。	上記のペアトレにも共通するが、保護者会という企画に対してニーズのある保護者はいないと感じる。	参観日イベントなどの企画を検討している。